



テレビはどうやって作るの、何から作るの

ブラウン管と電子じゅう

テレビは、非常にたくさんの部品を使って、組み立てられています。テレビで、いちばん大切な部品は、画像がうつる所です。これは、ブラウン管とよばれるものです。

ブラウン管の、いちばんおくの所には、懐中電灯のような形の装置が、取り付けられています。これは、電子じゅうとって、電子のつぶを、テレビの画面に向けて、発射する部分です。

画面の内側には、特別な薬（けい光体）がぬられていて、電子のつぶがあたると、そのあたった所が光るようになっています。そして、ブラウン管に画像がうつるのです。

機械で自動的に組み立てる

ブラウン管のほかに、音を出すスピーカー、見たいチャンネルを選ぶチューナー、電線を巻いたコイルや、トランジスタやLSI（大規模集積回路）などの、小型の重要な部品が、導線でつなぎ合わされて、できています。

テレビの組み立ては、かなりの部分を、機械で自動的に行っています。機械でできない部分は、人が組み立てています。（監修・青木 国夫）

